
いみてーしょん・序

こたつむり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いみてーしょん・序

【Nコード】

N1152N

【作者名】

こたつむり

【あらすじ】

短編ですらありません。ただ連載が厳しいので、書きかけを短編としました。序だけですが、興味あったらどうぞ。

普通・平凡・日常、こういった類の言葉は、言葉の意味するところ違ってものすごく厄介だ。自分にとっての普通は誰かにとっての特別かもしれないし、それと同様に、誰かにとっての平凡は自分からしたら非凡で、自分の日常は誰かの異常かもしれないのだが、誰もそんなことに気づかないし、気づこうともしないで、自分の『いつも』を過ごして寿命を消費していく。

そのくせ、特別を求め、非凡に憧れ、異常を愛するというのだから、人間は性質^{たち}が悪い。そんなもの、そこら中に、いたるところに、落っこちているというのに、そんなものには見向きもしない。

「在り得ないなんて在り得ない。在るとするなら、それはお前が知らないだけだ」

なんてことを言われたことがあったけれど、この言葉を理解するのにどれだけ痛い思いをしたことか、できれば思い出したくもない。一生もんにして、失笑もんのトラウマなのだが、かといって、忘れることもできなければ、ましてや捨てることなんてできるはずもない出来事であることも確かなのである。だって、麻酔なしで大手術するような痛い思いまでして手に入れたものを、くだらないからってあっさり捨ててしまえる奴なんていないだろ？ たぶん。少なくとも僕はそうだ。

まあ、何が言いたいかと言うと、在り得ないなんて在り得なくて、世界ってやつはそれぞれの見たいように存在していて、稀に変なもの^がが紛れ込んで自分の世界がひっくり返ることがあるってことなんだけど。

これって結構真理なんだぜ。だって、僕は高校2年の春、唐突に、突然に、何の前触れも前フリもなく、人間もどきの化け物もどきになってしまったのだから。そう、吸血鬼もどきに。

（後書き）

どうでしたでしょうか？ 続きはいずれ書くつもりですが、みなさんの反応次第で、執筆・投稿のスピードなどを変えていこうと思います。感想お待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1152n/>

いみてーしょん・序

2010年10月28日00時52分発行